

2026年2月1日
2月第一主日礼拝式／聖餐式



67 きよい手を上げ

きよい手を上げ 賛美にみたされ

感謝のところで 主をたたえよ

主をたたえよ 主をたたえよ

感謝のところで 主をたたえよ

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌18番 「おお御神^(みかみ)をほめまつれ」

1 おお御神を ほめまつれ 尽きぬいのち あたえんと
ひとりごをも おしみなく よびとのため くだしたもう

* ほめよほめよ 神の愛を 歌え歌え 主のみわざを
そのみわざに現われし 父なる神の恵みを

2 主は贖^(あがな)い なしとげて 御名に頼る 人々の
罪はいかに 深くとも 赦しあたえ 助けたもう

* (くりかえし)

3 げにとうとき み救いよ いとくすしき み教えよ
たぐいもなき喜びは 再び主に 見^(まみ)ゆる日

* (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌298番 「主に任せよ」

- 1 主に任せよ 汝(な)が身を 主は喜び 助けまさん
忍(しの)びて 春を待て
雪はとけて 花は咲かん
嵐にも 闇にも ただ任せよ 汝(な)が身を
- 2 主に任せよ 汝(な)が身を 主は喜び 助けまさん
悩みは 強くとも
み恵みには 勝つを得(え)じ
真実(まこと)なる 主の手に
ただ任せよ 汝(な)が身を

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン